

太陽だまり

会 報

第16・17号
合併
平成26年11月



一般社団法人
山形県老人クラブ連合会

〒990-0021 山形市小白川町2-3-31 県総合社会福祉センター2階
tel (023)622-5601 fax (023)622-5606
ホームページ <http://www.kirara-yamagata.or.jp>
E-mail yrouren@poplar.ocn.ne.jp

第49回 山形県老人福祉大会

9月2日、山形市・山形テルサ「テルサホール」において、県内市町村老人クラブの役員、老人福祉関係者等800名余が参加し、第49回山形県老人福祉大会が開催されました。

今年は、「のぼそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」をメインテーマに「健康寿命プラス5歳」への取り組みについて、開催地山形市老人クラブ連合会の健康づくり事業と各地区の活動と女性委員会のおもてなし活動を映像にまとめ紹介していただきました。

また、会場では「老人クラブいきいきクラブ体操」を披露し、客席の皆さんも一緒に体を動かしていただきました。

式典では、柿崎繁雄県老連会長が式辞を述べ、ご臨席の来賓を代表して吉村美栄子県知事をはじめ市川昭男山形市長、鈴木正法県議会議員、石沢秀夫山形市議会副議長、鈴木憲和・阿部寿一衆議院議員、大沼みずほ参議院議員よりご祝辞を賜りました。

また、県知事感謝状と県老連会長表彰並びに感謝状が伝達され、老人クラブ会員加入促進キャンペーン運動達成と全老連活動賞受賞の紹介も併せて行われました。

そして、受賞者を代表して山形市の三宅高子さんがあいさつされました。

小林達夫県老連副会長が、大会宣言を朗読し提案を行い、満場の大きな拍手をもって採択されました。



大会宣言

人口に占める75歳以上高齢者の急激な増加が予測される中で、地域における高齢者相互の支え合いが重要であり、閉じこもりを防ぎ、心のつながりを深め、住み慣れた地域で継続的に生活できるよう、老人クラブのネットワークを活かした見守り・生活支援への期待が大きくなっています。

また、「のぼそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」は、老人クラブがこれまで取り組んでいます健康活動とおして、知識と経験を生かす場づくりの機会を広げ、さらには地域に住む全ての高齢者が近隣社会の絆の形成に貢献することをめざしていくもので、県の施策と時宜を得た考えであります。

地域とともに歩んできた高齢者組織の老人クラブは、これまでの実績をさらに向上させ、地域包括ケアシステムの構築において中核的な役割を担っていくために、会員自らが主体的に人間関係を創りあげ、高齢者の尊厳を守る地域再生の取り組みに向けて歩み出していかなければなりません。

東に蔵王連峰、西には月山・朝日・飯豊といった秀麗な山々に囲まれ、城下町のたたずまいを残す県都山形市に集う老人福祉関係者は、深刻化する少子・高齢社会にあって歳を重ねても社会に貢献する意欲と姿勢を失わない生き方を追求しながら今後の方向性についても理解を共有しあい、相互に連携・協働して次の事項の実践を誓い宣言します。

- 一、健康寿命をめざす「健康づくり・介護予防活動」の充実
- 一、老人クラブの原点に立った「仲間づくり活動」の強化
- 一、日常生活を支援する「地域支え合い・友愛活動」の推進
- 一、高齢者の安全と安心が守られる社会保障制度の確立

平成26年9月2日
第49回山形県老人福祉大会

I 県知事感謝状

- ①老人クラブの指導育成に特に貢献のあった者…35名 ②社会福祉(地域)活動が特に顕著な老人クラブ…1団体
③老人福祉施設等の介護職員として15年以上業務に精励し、他の範と認められる者…25名

II 県老連会長表彰

- ①老人クラブ育成指導功労…105名 ②優良老人クラブ…5団体

III 県老連会長感謝状

- ①事業協賛協力団体…2団体 ②退任役員…3名

オープニングイベント

～ With 山形 DC おもてなし隊 & 高齢者の安全・
安心を守るキャンペーン～

県老人福祉大会のオープニングイベントとして、山形市老連女性委員をはじめ各関係機関団体よりご協力いただき山形駅西イベントゾーンにて開催されました。

この日のために、山形市老連女性委員会が仲間を集め、ペットボトルキャップを再利用し環境にやさしくかわいらしい手づくりの記念品「おしゃれなエコハット」を参加者代表に手渡しました。



また、山形 DC キャンペーンにともない山形の観光ガイドブックの配布、県警本部交通企画課と交通安全対策協議会より交通事故防止啓発グッズ、県くらし安心課と県消費生活センターより「高齢者の消費生活被害防止」広報グッズも配布され、山形県は高齢者にとって安全で安心して生活ができることを PR しました。

9月初旬のまだまだ暑い季節であることから、熱中症対策として「大塚製薬株式会社山形出張所」よりイオンウォーターの試飲も実施するなど、盛り沢山のイベントに大会参加者も大喜びでした。



健康づくりと県老人福祉大会歓迎おもてなし活動 DVD 紹介

健康寿命 ^{プラス} 5 歳 への取り組み

式典前の歓迎アトラクションとして、山形市老人クラブ連合会が実施する健康づくり活動と県老人福祉大会を開催するまでの活動の様子を追跡取材し、老人クラブの魅力を映像化して伝えてみようというオリジナル DVD を制作・放映しました。

取材はもとより、収録、ナレーション、編集、放映まで老人クラブ会員が行い、プロ顔負けの DVD ができあがりました。

収録の内容は、地域のサロン活動で行われる健康づくり事業や地区コミュニティセンターへの協力として世代間交流活動を積極的に行っている老人クラブを取材、DVD が放映された会場は、スクリーンに映し出される仲間の活動を熱いまなざしで鑑賞し、笑い声や「こんな活動もいいね」などと感想が聞こえてくることもありました。

また、DVD で活動の紹介があった女性委員会有志による「いきいきクラブ体操」の実践をステージで披露、客席の参加者も腕を動かし体操を真似てみる光景もみられました。



第8回公式ワナゲ全国交流大会

健康寿命延伸効果に注目 ワナゲ人気高まり過去最多72チームが参加

去る10月10日、山形市内のヒルズサンピア山形体育館を会場に、県内外からこれまで最多の72チーム、選手・応援・運営関係者を含め400人を超える方が参加し、第8回公式ワナゲ全国交流大会を開催しました。

この大会は、公式ワナゲ普及にあわせて「ワナゲ王国山形」を全国に発信することをねらいに実施しており、年々参加チーム、参加者とも増え関心と人気が高まり広がってきています。

参加チームは、地域の老人クラブの他、老人福祉施設からもあり、相互交流の場ともなっています。

選手登録者の平均年齢は76.4歳で、90歳以上の方が7名おり、最高齢者は98歳でした。

大会運営にあたっては、山形市老連役員をはじめ、公式ワナゲ公認指導審判員、普及員有資格者と東海大学山形高等学校福祉コースの生徒たちに協力をいただきました。

競技は、1チーム3人で構成し、1人が9本の輪を投げる単独投輪ルールで、1人3ゲームを行いその得点を集計する個人戦と、団体戦では1チーム3人の得点を合計して得点の高い上位24チームが決勝トーナメントに進出しました。

今年度の団体優勝は、「長井市草岡チーム」が善戦し栄冠に輝きました。

個人戦、団体戦とも非常に競技力が高く、今大会のパーフェクトは予選で15名17回、決勝トーナメントでは16名20回と各コートからはパーフェクトが出るたびに歓声が沸き、白熱した戦いの中にもふれあいがあり、楽しんでプレーしていました。

今大会の成績は、日本ワナゲ協会「全国ランキング大会」に連動し申請することにしており、今回も上位入賞への期待が高まっています。



大会風景

成績結果

★団体部門

賞区分	チーム名	市町村
第1位	草岡	長井市
第2位	四ツ谷むつみ会	上山市
第3位	高畠老ク連	高畠町
第3位	行川長生会A	村山市

★個人部門

賞区分	選手名	チーム名	市町村	得点(※)
第1位	坂 口 興 一	生浜公民館ワナゲクラブ	千葉市	750
第2位	佐 藤 幸 雄	藤島	鶴岡市	690
第3位	高 世 喜代子	草岡	長井市	660
第4位	横 澤 要	中伊佐沢老人クラブ	長井市	630
第5位	布 川 勇 雄	四ツ谷むつみ会	上山市	630



★パーフェクト賞(15名)

選手名	チーム名	市町村	選手名	チーム名	市町村
佐 藤 玲 子	楯山B	山形市	佐 藤 幸 雄	藤島	鶴岡市
治 部 正 義	若あゆA	舟形町	横 澤 要	中伊佐沢老人クラブ	長井市
設 楽 典 旺	三川B	三川町	菅 野 文 雄	川原沢	長井市
甲 州 モト子	戸沢村老連A	戸沢村	布 川 勇 雄	四ツ谷むつみ会	上山市
安 食 サヨ子	戸沢村老連B	戸沢村	鮑 六 弘 征	勸進代A	長井市
丸 岡 利 吉	横山寿会	三川町	坂 口 興 一	生浜公民館ワナゲクラブ	千葉市
佐 藤 フジノ	新開	山形市	庄 司 キ ヨ	南小路寿老会	中山町
高 世 喜代子	草岡	長井市			

★老人福祉関係施設部門(ふれあい賞)

賞区分	チーム名	市町村
団体 1 位	特別養護老人ホームおばなざわ	尾花沢市

(※)得点は、3ゲーム合計得点、同点の場合の順位は年齢、性別をもって決定する。

平成26年度通常総会 平成25年度事業報告並びに収支決算を承認

6月20日、山形市・県総合社会福祉センター 4階「大会議室」において、県老連を構成する市町村老連の代表者が参加し、通常総会を開催いたしました。

6月4日に白石会長が逝去されたことから、横澤副会長が会長代行を務めあいさつを行い、来賓の県健康福祉部長あいさつでは、沼沢長寿健康福祉課長が代読しました。

その後、議長に天童市の吉泉会長を選出し議事に入りました。

議事では、平成25年度事業報告と収支会計決算、そして公益目的支出計画実施報告書の承認事項について事務局より説明し、高山監事の監査報告を経て審議され、異議なく可決されました。

次に市町村老連会長異動に伴う役員補充では、異動のあった各地区から予め候補者の推薦をいただき満場一致で承認され、直ちに就任されました。

また、任期半ばの会長並びに副会長の補充については、定款に基づき総会終結後理事会を開催し、選任を行い(表1)のとおり決まりました。



平成25年度 正味財産増減計算書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

科 目	当年度	前年度	増 減	科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部				(2) 経常外費用			0
1. 経常増減の部				過年度減価償却費	11,473,661		11,473,661
(1) 経常収益				経常外費用計	11,473,661		11,473,661
① 受取会費	7,708,200		7,708,200	当期経常外増減額	△ 11,473,661		△ 11,473,661
② 事業収益	6,010,630		6,010,630	他会計振替額	0		0
③ 受取補助金等	7,423,000		7,423,000	当期一般正味財産増減額	△ 19,557,819		△ 19,557,819
④ 受取負担金	709,800		709,800	一般正味財産期首残額	82,851,737		82,851,737
⑤ 雑収益	2,128,661		2,128,661	一般正味財産期末残額	63,293,918		63,293,918
経常収益計	23,980,291		23,980,291	II 指定正味財産増減の部			
(2) 経常費用				受取寄付金	0		0
① 事業費	23,199,064		23,199,064	一般正味財産への振替額	0		0
② 管理費	8,865,385		8,865,385	当期指定正味財産増減額	0		0
経常費用計	32,064,449		32,064,449	指定正味財産期首残額高	0		0
当期経常増減額	△ 8,084,158		△ 8,084,158	指定正味財産期末残高	0		0
2. 経常外増減の部			0	III 正味財産期末残高	63,293,918		63,293,918
(1) 経常外収益	0		0	「公益法人会計基準」(平成20年4月11日内閣府公益認定委員会)適用初年度のため、前年度の数値を記載しておりません。			
経常外収益計	0		0				

柿崎会長就任あいさつ



6月20日の第6回理事会において、一般社団法人山形県老人クラブ連合会会長に選任いただき、同日付をもって就任いたしました。

もとより微力ではございますが、全力を尽くして高齢者の健康と生きがいづくり並びに老人クラブ発展のため、副会長をはじめ理事、市町村老連会長よりご協力いただき努力いたす所存でございます。

何とぞ、前任者同様のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

役員名簿 (表1)

役 職	氏 名	選出区分	所属老連役職
会 長	柿崎 繁雄 *	最上地区	大蔵村老連会長
副会長	亀谷 千代子	女性委員会	県老連女性委員長
副会長	小川 正 *	置賜地区	米沢市老連会長
副会長	吉泉 吉四良 *	村山地区	天童市老連会長
副会長	小林 達夫 *	庄内地区	鶴岡市老連会長
常務理事	高橋 潔	学識経験	県老連事務局長
理 事	平 勇一	村山地区	山辺町老連会長
理 事	鈴木 豊	村山地区	大江町老連会長
理 事	矢萩 結一 *	村山地区	村山市老連会長
理 事	歌丸 力夫 *	置賜地区	南陽市老連会長
理 事	武田 正三	庄内地区	酒田市老連会長
理 事	成澤 鐵男	庄内地区	遊佐町老連会長
理 事	遠田 武 *	庄内地区	庄内町老連会長
理 事	佐藤 昌代	女性委員会	県老連女性委員会副委員長
監 事	高山 五郎		新庄市老連会長
監 事	工藤 健一 *		西川町老連会長

* 印が今回就任した役員

地域に老人クラブの灯を消すな!と復活

県内の老人クラブ会員数とクラブ数は、平成に入り漸減の兆候が見られることから、平成9年度から会員加入プラス5人作戦をはじめとする増強運動に取り組んできましたが、近年は単位クラブの解散や脱会などの要因により依然減少傾向にあります。

平成22年度から新たな県内一斉会員加入促進キャンペーンを3か年計画で展開し、関心と機運が高まってきたことから、継続してこれまでの主な取り組みである新規会員を増やす活動に加え、現在あるクラブを活性化させ解散を防ぎ、また休会や解散したクラブを再結成・再加入させる新たな視点での行動で、平成27年度まで期間を定め取り組んでいます。

会員加入促進運動の表彰表1の5区分を対象にして前年の取り組み成果をまとめ、達成したクラブを各市町村老連から申請をいただいています。

今年は、各部門を通して32老連より申請があり、184クラブが達成されました。

9月2日に開催した県老人福祉大会において、運動の経過報告と達成されたクラブを公表し、達成奨励賞を贈りました。

表 彰 区 分	達成市町村	達成クラブ
1. 新規会員 10% 増	18	74
2. 新規会員 5 人以上 増	24	69
3. 70 歳未満会員割合 5% 増	10	23
4. 再結成・再加入、新規結成クラブ	7	14
5. 市町村老連会員 増	4	—

全老連活動賞

この賞は、全国老人クラブ連合会がそれぞれの活動分野に焦点をあて、他の参考となる活動を先駆的に実施している単位クラブ、あるいは連合会に贈呈され、贈呈を通して優良事例を掘り起こし、活動への意欲を高め、老人クラブ活動の一層の発展を目指していこうとするものです。

今年度も、市町村老連からの推薦申請方式をとらせていただき、自薦、他薦問わず自分たちの活動を自己評価し、自信をもって活動されており意欲を感じることができました。

今年度は、3部門に次の4団体を推薦し決定いたしました。

受賞団体紹介

クラブ名 石名坂・小反老人クラブ白寿会
区 域 鮭川村石名坂地区
会 長 山田節子
会 員 数 42 名
結 成 年 昭和 45 年 5 月

賞 区 分	受 賞 団 体
1. 仲間づくり活動部門	酒田市／酒田市老人クラブ連合会八幡支部
2. 健康づくり活動部門	南陽市／郡山若松会
3. ボランティア活動部門	鮭川村／石名坂・小反老人クラブ白寿会 酒田市平田支部／飛鳥老人クラブ

- * 石名坂地区(上石名坂・中石名坂・下石名坂・南石名坂)の4地区と小反からなる老人クラブである。鮭川村で唯一駅(JR奥羽本線羽前豊里)があり、老人クラブ結成依頼、駅周辺の清掃・花いっぱい運動を積極的に行い、老人クラブの活動の一環として行っている。
- * 毎週水曜日に「水曜会」と称し、会員のいこいの場として、コミュニケーションをはかり、健康相談や友愛活動を行っている。
- * 県老連が主催した老連大学校に受講生を派遣し、講義で学んだサロン活動に関心を示し、即実践に移してサロンを立ち上げた行動力は頼もしい存在である。



高齢者の交通死亡事故多発シーズン

心に警戒 絶対事故に遭わない・出さない誓い

高齢者の関係する交通事故は、件数と死者とも前年より増加し依然異常事態となっています。

11月1日から30日までの1か月を「高齢者の交通事故防止推進強化月間」に設定し実施されます。

これは、昨年の県内における交通死亡事故の発生件数は39件で、特に11月から12月の2か月間に集中して16件発生し年間の4割を占め、うち高齢者が犠牲となった事故は75%の12件で、その半数となる6件は午後3時から7時までの時間帯で4件は歩行中の事故で、日没がさらに早まり、夕暮れ時から夜間にかけて、また積雪による道路環境が悪化することで道路歩行中や横断中被害に遭う交通事故の増加が懸念されます。

このことから、このような状況を踏まえ例年の期間を11月にシフトして各機関・団体が連携して集中的な事故防止活動を展開することにより、地域全体で高齢者を見守る環境をつくり、高齢者の交通事故を防止することにしています。

★ 老人クラブの取り組み

- ★夕暮れ・夜間における「明るい色の服装」、「夜光反射材の着用」の推進
- ★クラブ単位の主体的交通安全教室の開催
- ★高齢運転者マークの普及と表示の促進
- ★会員から飲酒運転を出さない声かけの徹底
- ★「高齢者交通安全訪問キャンペーン」の推進

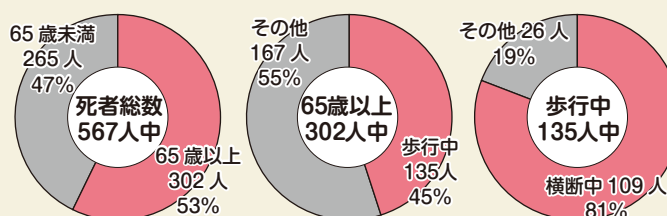


道路横断中が
圧倒的多数!!

秋以降の交通事故防止ポイント

道路横断時の安全確認

過去10年の高齢死者(65歳以上)の実態



【安全横断5則】

1. 安全な場所を選ぶ
2. 道路の端で必ず立ち止まる
3. 右・左の安全を確かめる
4. 安全を確かめたらまっすぐさっさと渡る
5. 横断中も右・左の車の動きに気を配る

山形県警察からのお知らせ

このような電話は詐欺です

オレだけど…携帯電話番号が変わった。

医療費の還付金があるので携帯電話を持ってATMまで行って。

あなたしか購入できないので名義を貸して。

現金はレターパックや宅急便で送って。

山形県民は
だまされない!!

特殊詐欺

ほだな話嘘だべ詐欺

平成つけこみ詐欺

まさか私が詐欺

まさか私は詐欺にあわないだろうと思っ
ていても、平成の詐欺の手口は巧妙化して
おり、つけこまれる可能性があります。

お金を要求する電話は、ほだな話嘘だべ
と疑ってだまされないようにしましょう。

今すぐできる詐欺被害防止対策

- お金を要求されたら、まず家族や警察に相談する！
警察相談専用電話「#9110」
- NTT ハローページから自宅電話番号を削除する！
- 在宅時でも留守番電話を活用する！

市町村の動き

大江町老連創立50周年記念事業 「大江町老人福祉大会」 華やかに希望に輝く 仲間づくりを誓う

昭和39年5月1日に設立し、今年50年を迎えました。

先輩方が築き上げてきた組織は、現在町内に32クラブ、会員1,016名で半世紀にわたり、仲間づくりと老人福祉の増進を目標に活動の歴史を刻んできました。

50周年を祝う行事として、例年開催している「町老人福祉大会」に祝賀会を組み込み、9月18日、町中央公民館中ホールを会場に各地の役員等約100名が参加しました。

会場も紅白幕で囲み8名程度のグループでレイアウトした各テーブルの上にはアレンジ生花を添え華やかに飾り付けました。

祝賀会では「やまがた舞子」のおもてなしの宴としてやまがた舞子のことりさん、あやめさん、いち葉さんの三名が「寿三番叟」と「山形小唄」を披露し、各テーブルを回りお酌しながら懇談したあとに「花笠音頭」で盛り上げていただきました。

11月上旬には、記念誌を刊行する予定で準備を進めています。



東根市老連・東京都中央区老連交流

平成26年7月2日(水)、東根温泉「嵐湯」において、交流懇談が開催されました。

東京都中央区高齢者クラブ連合会から48名、東根市老連からは10名が参加し、東根市老連安達会長、同市社協佐藤常務理事が歓迎のあいさつを行い、中央区高齢者クラブの岡田会長のお礼のことばで交流がはじまり、県老連からは高橋常務理事に駆けつけていただきました。

中央区高齢者クラブで現在人気の活動である「健康吹き矢」を教わり、試合方式で楽しみました。

記念品交換では、東根市から今が旬のさくらんぼ、地酒、女性部で作った爪楊枝入れとエチケット袋入れが贈られ、中央区高齢者クラブからは、吹き矢用具一式を贈呈されました。

また、県老連からもエコリサイクル活動で取り組んでいる「はつらつエイジの知恵袋」をお土産として寄贈いただきました。

その後、それぞれの役員で活動状況の報告や情報交換を行い、今後の組織運営と活性化に意欲を燃やしていました。

今年、山形県ではDCキャンペーンを実施していたことから観光交流とおもてなしに一役かって経済効果にもつながったと思います。



山形市老連 第7回秋の交流会

10月23日(木)、山形市中央公民館大ホールを会場に「第7回秋の交流会」を開催し、約300人の方が来場されました。

第1部では表彰式が行われ、老人クラブの指導育成に貢献され各地区から推薦のあった40名の方に、育成功労者として表彰状を亀谷市老連会長より、受賞者を代表して第十地区の藤沢睦夫さんに授与しました。

受賞者を代表しての謝辞では、「老いらくの恋と言われますが、いま私は恋をしています。この場で恋の相手を告白します。」とビックリさせられる内容で「その相手は、第十地区の老人クラブです。これからも愛し続け、二人三脚で楽しみます。」とユニークな表現で会場を笑いに包みました。

第2部では、27の演目による芸能発表があり、日ごろ各地区で楽しみを主とした活動の集大成としての発表



の場となっており、仲間と趣味を持つことで健康寿命をのばすことにもつながっています。

川西町老連 単位老人クラブ会長研修会

9月5日(金)、南陽グリーンヒルを会場に、「単位老人クラブ会長研修会」が開催されました。

「県内一斉会員加入促進キャンペーン」において、新規会員10%増達成が5クラブ、新規会員5人以上増達成が1クラブ、70歳未満会員割合5%達成が2クラブ、そのうち1クラブは新規会員5人以上増と70歳未満会員割合5%をダブル受賞されました。

達成された単位クラブの中から4つのクラブ会長により、地域での加入促進活動の取り組みについて事例発表が行われました。

趣味の会を通じた加入促進や、昨年達成されたクラブ会長の事例を聞いて、「すぐに加入促進を実施した」「休会・解散してしまったクラブの復帰をいつでも迎えられよう支援体制を整えている」「役員の後継者育成と新たな会員加入の呼びかけを積極的に行った」など、活動の内容は様々、苦労話から達成された喜びを会場の参加者とともに分かち合いました。



厚生労働大臣感謝状を受賞

平成 23 年の東日本大震災においては、老人クラブの組織力を結集し被災地支援として「きもちの元気袋」を送る運動に取り組みました。

また、県老連では、宮城県と仙台市のサポートを担当し、近畿・四国・中国ブロック老連から寄せられた元気袋が被災者に届くよう連絡調整する仲介役となりました。

これらの実績が認められ、このたび厚生労働大臣より感謝状をいただきました。

市町村老連はじめ会員の方々の地道な思いやりの賜であり厚く御礼申し上げます。



ときめきねんりんピック 2014

第 23 回山形県健康福祉祭 美術展

見てください あなたの作品 出品作品募集中！

応募作品 高齢者の創作した日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真の 6 部門

応募締切 平成 26 年 12 月 8 日 (月) 期限厳守

応募資格 県内在中で、昭和 31 年 4 月 1 日以前に生まれたアマチュアの方

開催日時 平成 27 年 2 月 19 日 (木) ~ 22 日 (日)
AM 10:00 ~ PM 5:00 (最終日は PM 3:00 まで)

会 場 山形美術館 (観覧無料)

お問合せ・申し込み 社会福祉法人山形県社会福祉協議会

電話 023-622-5805 FAX 023-626-1623

老人クラブ保険に賠償責任保険ができました！

老人クラブ活動中に仲間とぶつかってケガさせてしまった、誰かのものを壊してしまった…。

そんな時に相手の損害を補償する新しい老人クラブ保険「賠償責任保険」ができました。

クラブ全員が加入する保険で、年間掛け金は一人 100 円で加入できます。

いざというときのため、老人クラブ傷害保険と一緒に加入してみたいはいかがですか？

単位クラブ人数 × 100 円
＝ 年間掛け金

※詳しくは全国老人クラブ連合会ホームページよりご覧下さい。

2014年 新発売

老人クラブ傷害保険付帯 賠償責任保険のご案内

対人事故

活動中に
誰かにケガ
をさせてしまった。

対物事故

活動中に誰かの
モノを壊して
しまった。

ご安心ください。

お一人あたり 年間掛金 100 円 (月約 8.3 円) の保険です。

年間掛金	全会員数 × 100 円	賠償責任	お支払限度額 1 億円
保険期間	10月1日(午前0時)～翌年10月1日(午後4時)		
申込締切	9月15日まで(申込書類必着のこと)		
中途加入	全会員一括で加入の場合のみ中途加入可		

※上記保険期間開始後の申込み可能(毎月15日まで申込みの場合、翌月1日から加入)

※ただし、保険期間は加入月にかかわらず10月1日までとなります。

※お一人年間掛金100円は加入月にかかわらず同額となります。

1クラブ
年1回加入

訃 報

6月4日に県老連会長白石 敏氏のご逝去されました。

ご葬儀は、6月6日山形市内の葬祭場で執り行われ、本会からは柿崎副会長(当時)が参列し、弔辞を捧げました。

謹んでご冥福をお祈りいたします。



編集 後記

桜が咲く季節からあっという間に木々が紅葉し、気温差も激しくなっています。

これから寒い季節になり空気が乾燥すると、風邪やインフルエンザなどの病気が流行します。

うがい手洗いは意識して実施していますか？インフルエンザなどの流行する病気の予防対策はお済みですか？

かかりつけのお医者さんやご家族と相談して、流行する病気の予防対策をすることも高齢者の「健康づくり」の一環になります。

自分の体は自分が一番分かっていると過信せず、家族や老人クラブの仲間と声を掛け合ってお互いの健康を守りましょう。(歩)